

川崎市民のための
生涯学習情報誌

Stage Up

ステージ・アップ

通巻 No.186

2012年6月1日 発行

(隔月発行)

ホームページからも

ご覧いただけます!



シリーズ 市内美術館・博物館とその所蔵品から
「ディスクオルゴール」 小黒恵子童謡記念館

誌上ギャラリー

“NHKみんなのうた”で親しまれた「大きなリンゴの木の下で」などの童謡で知られる小黒恵子さんの記念館は、明治12年に建てられた洋館の骨格をそのままに残した重厚な館です。

広いホールには19世紀末に作られた米国レジーナ社製ディスクオルゴールや楽曲集、レコードなどが展示されています。オルゴールの音色にふれたり、ピアノ奏者による演奏を楽しむこともできます。

所在地：川崎市高津区諏訪3-13-8

東急田園都市線二子新地駅または高津駅から徒歩13分
電話：044-833-9830 土日のみ開館（1月・8月休館）

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集 “かわさき^{そら}宙と緑の科学館”
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>

ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811

E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

伝統芸能を守り伝える人たち

～早野お囃子連の取組から～



夏から秋にかけて、そこここ祭囃子(はやし)の音(ね)が響き、気分を浮き立たせてくれます。しかし、その多くはスピーカーから流れる録音の音、今や生(なま)の演奏は貴重なものとなりつつあります。

昭和44年発行の「川崎市文化財調査収録」によると、昭和十年代までは村単位に多数のお囃子連があったそうです。麻生区早野のお囃子連は戦中・戦後のしばらくの間途絶えていた地域のお囃子を復活させようと、昭和53年に再開されました。お囃子を記憶している先輩の指導で始めた人たちが、後継者不足を案じつつ、伝統芸能の伝承に取り組んでいます。

9月半ばの土曜日の夜、麻生区下麻生にある子(ね)ノ神社を訪ねました。三々五々社務所に集まってきた人たちのまとめ役は早野町内会会長の高瀬隆雄さん、小6のお孫さん雅史君も一緒です。10月の祭礼の打ち合わせの後、囃子連連長(れんちょう)の矢元さんを中心に囃子を披露してくださいました。雅史君も加わった太鼓の響と力強い笛や鉦(かね)の音の合奏、原橋さんの笛、高橋さんの獅子舞も見事でした。

10月1日は子ノ神社の夜宮。心配された雨も降らず、自分たちで組み立てた舞台に祭り半纏(はんてん)を着て勢ぞろい、躍動感あふれる音が夜空に響き渡りま

した。

早野お囃子連は地元の東柿生小学校との連携を大事にしています。23年3月に麻生市民館であった里山フォーラム*では東柿生小学校の児童がリコーダーでお囃子を演奏、生き生きとした力強い演奏に引きつけられました。

その演奏が忘れられず、23年度も3年生の学習の一環としてお囃子の指導が行われていると聞いて東柿生小学校を訪ねました。テーマは「ぼくらのおはやし2011」、この日は3年生全員と特別参加の2年生の前で一曲披露。笛・太鼓の迫力満点の生演奏に子どもたちも身を乗り出します。演奏の後は3年生から質問の連発。「いつから始めたのですか? なんでお囃子って言うのですか? 何曲くらいありますか?」お囃子連の方たちが笑顔で答えます。

東柿生小学校には「地域社会とともに生きる子」という教育目標があります。さらに「町の伝統を引き継ぐ」とも書かれていました。先生方の深い思いが込められていることを知り感動しました。

代わり番こで演奏体験 ※8月号で24年度の取組を紹介します。



地元の歴史を後世に伝えたい

～日吉郷土史会～

この会の始まりは2000年に南加瀬こども文化センターで開催された歴史の講座でした。講座終了を残念に思った人たちが会を立ち上げようと仲間を集めました。地域の歴史に詳しい人たちは高齢になり、「伝えていかなければ埋もれてしまう日吉の歴史を、後の世代にもつなげたい」との思いから『日吉郷土史会』と名づけました。

2002年に立ち上げ、2003年に新たに開設された幸市民館日吉分館を拠点とし、本格的に活動を始めました。毎月1回講義を聴いたり見学に出かけたり、年に1回はバスでの見学会も行うなど、当時から基本のスタイルは変わらず、日吉の郷土史だけにこだわらずに広く歴史をとらえる学習もしています。

地域の小学校での学習支援も大切な活動のひとつです。歴史ガイドとして地域の歴史を伝える活動は学校だけでなく、日吉分館やイベントでの展示なども積極的に行っています。



同行取材をした『田園調布古墳群等 毎回配られる資料

を訪ねて』という見学会では、大田区の学芸員の講義と説明に一言も聞き漏らすまいと熱心に耳を傾ける皆さんの姿がありました。

「毎回、資料が充実しているんです。読んでいて勉強になります」「年配の方の知識量には驚かされます」と歴史好きにはたまらないといった表情で話される方。「歴史好きではなかったけど、参加してみたら楽しかったのよ」と知らず知らずに続いている方。「定年退職して時間ができたので」…と様々な参加理由はありますが、皆さん、新たな知識を学ぶことに喜びを感じ、活動を楽しみ、充実した時間を過ごしていることが言葉の端々から感じられました。

“知りたいという気持ち”と“知る喜び”が皆さんの原動力なのだろうと思いつつも、その知識の豊富さと活動の力強さに驚きを感じた取材でした。

■ 問合せ先 日吉郷土史会 会長 平田道明

☎ 044-599-2211



多摩川台公園にて古墳の見学

日本語ボランティア

～外国人市民の支援に乗り出すたくさんの人たち～



電子辞書を片手に
日本語の学習

各区の市民館・川崎市国際交流協会などの広報紙上に「外国人のための日本語教室」といった趣旨の見出しを目にすることがあります。現在、川崎市には32,000人近い外国人が在住しています。三世・四世と長く日本で暮らす人も多くいますが、様々な国から日本に来てまだ間もない人も少なくありません。

日本語がわからないために仕事・子育て・病院通い・住まいの問題など日々の暮らしに困っている人がたくさんおり、日本語学習の場や日本語ボランティアなど支援の必要性が高まっています。そんな人たちの役に立ちたいとボランティアになるための研修に励む人、また、実際にボランティア活動に取り組んでいる人たちをご紹介します。

日本語ボランティア入門研修

23年8月中旬の多摩市民館、研修室内は30人近い受講者でいっぱい。講師の吉田聖子さん（東京外大多言語・多文化教育研究センターフェロー）のテキ



なごやかな中にも真剣な研修風景

パキとした指導のもとで、熱のこもった学習をしていました。この講座は年間計10回。6月の第1回は外国人の講師による「母語に対する私たちの思い」がテーマでした。その後ボランティアとは何かなどの研修を受け、さらに実際に外国人が学んでいる日本語クラスを参観するなどの研修を積んでいきます。「日本語をどのように伝えるか」という技術の研修もさることながら、ボランティアとしてどのように人と接し、共感的・受容的な対応を進めるかという心構えを学ぶことに力を入れているよう



豊かな経験に基づいて
吉田講師が説得力のある解説

です。この日の研修は、まず「ボランティアとして大切なことを3つ考える」ということから始まりました。班ごとに自己紹介も行われましたが、こうした研修を通して“人とのかわり方”“支援のしかた”を学んでいきます。

研修は外国人の身になって

日常生活を支える日本語ボランティアの支援にはどのようなものがあるのでしょうか。自分が外国の地にポツと立ったときのことを想定して考えます。

- 何がほしい。どこへ行けば買える。
- いくらする。いくら持っている。
- いくら払う。いくらのおつり。

ボランティアといっても、四六時中支援できるはずはありません。教養としての日本語ではなく、必要度、緊急度を考えて研修を深めます。まず身につけるべき日本語、生きていくうえで大切な日本語を外国人の身になって選び、対話活動のためのトピック（話のねた）として例示していきます。

ボランティア活動の実際

8月下旬の研修会では多摩市民館の「多摩にほんごクラス」（昼の部）・「多摩識字・日本語クラス“たま語”」（夜の部）で実際にボランティア活動をしている方たちから取組の説明がありました。

昼の部を運営している多摩にほんごの会は1996年にスタートして年36回、毎回学習者の日本語力等に応じて5クラス編成で活動しています。大震災後学習者は減ったものの、現在72人の外国人が通っています。日本人と結婚した人など主婦層が多いとのこと、短期的な参加もあるそうです。夜の部の“たま語”は始まって12年、4クラス編成で学習しています。いずれも言葉の学習だけでなく、お花見・七夕などの行事、母国の歌や踊りも活動内容の説明をする夜の部担当者披露される忘年会など、様々な活動を通して文化交流・相互理解に力を入れています。



活動内容の説明をする夜の部担当者披露される忘年会など、様々な活動を通して文化交流・相互理解に力を入れています。

学びあう喜び～日本語教室風景～

9月半ば、昼の日本語クラスを訪ねました。初歩のクラスは自己紹介から。「私は〇〇から来ました△△です」……日本語表現に戸惑いながらも、ボランティアの笑顔に支えられてチャレンジします。中級クラスではお月見を話題に話の花が咲いていました。バス車中から見えた漢字を例に学習をしているクラスもありました。ケニア・ウガンダ・カナダ・アメリカ・中国・韓国……この日も多数の学習者が集まりました。日本語力は人それぞれ、1対1で個別学習に取り組む班もありました。ここは月謝を払ってプロの指導を受ける教室ではありません。支援者も学習者も試行錯誤を重ねながら学びあい、心を通わせあう場なのです。学ぶ喜び、支えあう喜びが教室に満ちていました。



地図を広げて自国の紹介

“ボランティア養成講座”は受講希望者いっぴいの人気講座です。また、“日本語教室”は各区市民館・分館・国際交流協会・ふれあい館等で取り組まれています。くわしくはお近くの施設、または教育委員会生涯学習推進課（044-200-3339）におたずねください。

ボランティアのプレゼント

特集



キャラクター
かわさきぷりん

かわさき 宙と緑の科学館

そら
Kawasaki Municipal Science Museum
サイエンスプリン

4月28日、青少年
科学館がリニューアル
オープン！
生田緑地全体の整
備も進みました！！

改装工事のためにしばらく休館していた青少年科学館が、“かわさき宙と緑の科学館”として4月28日(土)にリニューアルオープンしました。また、生田緑地東口には東口ビジターセンターが、さらに西口には西口サテライトが新設されました。

新しくなった科学館の展示室やプラネタリウムでは「自然体験」「天文体験」「科学体験」ができます。“かわさき宙と緑の科学館”と生田緑地の魅力をご紹介します。

新装なったかわさき宙と緑の科学館 ~見どころがいっぱい！~

かわさき宙と緑の科学館はこれまでも“市内唯一の自然科学博物館”“市民とともに歩む科学館”として、市民ボランティアの熱心な協力・支援をいただきながら、研究活動・収集活動を行ってきました。そして、家族連れや小・中学校の校外学習など、様々な形で市民はもとより、市外・県外の多くの方々に親しまれてきました。その青少年科学館がより魅力的な博物館に生まれ変わりました。

3つの分野で様々な感動体験を！

自然分野

5コーナーで展示

- 川崎の大地 ナウマン象の白歯化石や貝の化石群の展示など
- 丘陵の自然 タヌキやオオタカなど丘陵に暮らす生き物たちは、互いにつながりあって生きています。
- 街の自然 ホンドタヌキなど、今も市街地に生息する生き物たちの紹介など
- 多摩川の自然 昆虫・魚・鳥など多摩川で暮らす生き物たちの剥製がいっぱい
- 生田緑地ギャラリー 豊富な展示品を見て一歩外に出れば、そこには豊かな自然が広がっています。



施設内サイン“ルリビタキ”



テラスからの展望



天文分野

- プラネタリウム：最新のメガスターフュージョンシステム
- アストロテラス：4台の望遠鏡で天体観察
太陽望遠鏡も設置。昼の天文観察も可能です。
夜の市民観察会など多彩な企画
- パネル展示・映像解説（2階）



太陽望遠鏡

2階のパネル展示では太陽系の歴史などが分かりやすく図示されています。映像解説から学ぶこともできます。



学習室

科学分野

学習室や実験室では職員・市民ボランティアの指導を受けながら、「ワクワク！科学実験教室」など様々な体験学習活動に取り組むことができます。

- 開館時間：9:30~17:00
- 休館日：月曜日（祝日の場合開館し翌火曜日休館。祝日の翌日休館）

最新鋭メガスター(MEGASTAR III FUSION)設置!!

生田緑地内にある青少年科学館、その“目玉”とも言えるプラネタリウムは、これまでも子どもから大人まで、たくさんの人たちに親しまれてきました。このほど“かわさき宙と緑の科学館”としてリニューアルオープンするにあたり、世界最高の星空と言われている投影機=MEGASTAR III FUSIONが設置されました。

この最新鋭メガスターの開発者は大平技研代表取締役の大平貴之氏、世界の注目を集めているプラネタリウムクリエイターです。大平氏は川崎生まれ、小学生のころ青少年科学館を訪ね、プラネタリウムと出会いました。以来プラネタリウムに魅せられ、当時の解説員から機械の仕組みを学び、子どもながらに手作りで投影機の製作に没頭、繰り返し工夫を重ねて今日にいたりしました。



市長記者会見でメガスターの解説をする大平氏



超最新メガスターは美しく精緻（せいち）な星空を描き出す光学式プラネタリウムと、あらゆる映像や空間表現を可能にするデジタルプラネタリウムの技術を融合させ、これまでにない宇宙像を再現したもので、フュージョンプラネタリウムとも言われます。初期のプラネタリウムで投影された星の数は9,000個程度でした。メガスターは約1,000万個の星空を再現します。市民にとってうれしく、めずらしい試みのひとつは、現在113校ある全ての市立小学校の校庭から見える星空を体感できることでしょうか。頭上の星空から大宇宙にまで、時空を超えて一気に誘（いざな）ってくれます。いわば、光速よりもはるかに速く宇宙空間の旅が楽しめる施設です。

- プラネタリウム投影時間：平日は15:00から（一般向け）
土日祝：①10:30(子ども向け) ②12:00 ③13:30 ④15:00(②③④一般向け)
- 観覧料：大人(65歳以上は除く)400円、高校生・大学生・65歳以上200円、中学生以下及び川崎市発行「福寿手帳」所持者は無料 団体料金有り

生田緑地には……! 生田緑地内には、豊かな散策コース・芝生広場はもちろん、川崎生まれの芸術家岡本太郎の全容を伝える**岡本太郎美術館**、東日本一帯で伝承されてきた古民家・民具等を目の当たりにできる**日本民家園**のほか、藍染め体験ができる**伝統工芸館**、国内有数の**ばら苑**など貴重な施設がたくさんあります。ぜひお訪ねください！

- アクセス：小田急線・JR南武線登戸駅下車徒歩25分 小田急線向丘遊園駅南口下車徒歩13分
他に登戸・向ヶ丘遊園・溝口からのバス便があります。駐車場もあります。
- 問合せ：◇科学館：922-4731 ◇生田緑地：933-2300 ◇岡本太郎美術館：900-9898 ◇日本民家園：922-2181
◇伝統工芸館：900-1101 ◇生田緑地ばら苑：(春・秋の開催期間中) 978-5270 (開催期間外：建設緑政局公園管理課) 200-2394



たくさんの訪問者で賑わう宙と緑の科学館

東口ビジターセンター・西口サテライトもオープン!

生田緑地東口には東口ビジターセンターが、西口には西口サテライトがオープンしました。

東口ビジターセンターは生田緑地の四季折々の自然や緑地内の施設等を紹介するスペースで、太陽光発電・県内産木材使用など環境にも配慮した施設です。

また、西口サテライトも生田緑地の施設や自然を紹介する施設となっています。新しくオープンした施設に、ぜひお立ち寄りください。

- 開館時間：8:30~17:00
- 休館日：年末年始(12/29~1/3)
- 問合せ：東口ビジターセンター 044-933-2300



東口ビジターセンター



多目的スペース



西口サテライト

施設めぐり

市内公的施設および本財団が管理運営する施設のご紹介

京浜急行大師線東門前駅下車徒歩7分
☎044-287-7882

大師河原水防センター(大師河原干潟(ひがた)館)

大師河原干潟館は、多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信・環境学習を行う市民活動拠点の愛称です。国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所が管理する大師河原防災ステーションの一角にある大師河原水防センターの一部を利用して、市民で構成する運営委員会と川崎市が協働で管理・運営しています。

京急東門前駅改札口を出て左手、多摩川土手方向に進むと、右手にジャングルジムや公衆トイレ、盛り土されて丘のようになった芝生の広場が見えてきます。その奥にある新しい建物が大師河原干潟館です。建物の前にある小高い芝生の広場は、そこに積まれた土がいごという時の土嚢(どのお)に使われます。丘の横にはヘリポートがあり、近くにはたくさんの波消しブロックも置かれています。2階には会議室もあります。いずれも災害時に備えて用意されたものです。



干潟館では市民や子どもたちが楽しめる「自然観察会」「エコラフト教室」「水槽の生きもの紹介」「水辺の楽校」等の取組をしています。また、「ひがたかんタイムズ」の発行もしています。ぜひ、一度お立ち寄りください。

- 開館：水・木・土・日・祝日 10:00～16:00
- 場所：川崎区大師河原1-1-15



青少年の家

東急田園都市線宮崎台下車徒歩12分 または東急バス宮06系大塚か向01系向丘南原下車
☎044-888-3588

青少年の家は団体の宿泊研修等を通じて健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。勉強会や社員研修、サークルの練習等、子どもから大人の方まで幅広くご利用いただけます。また、青少年の家では、子育て中のお母さんと子どもたちの仲間づくりのための「よちよち歩きの子あつまれ」、小中学生を対象にした「こどもエコチャレンジクラブ」や「放課後おもしろクラブ」、青年教室「川崎市青少年の家ユースワークス倶楽部」、プール開放・シニア卓球教室等、様々な事業に取り組んでいます。



□よちよちっ子のおはなし会□

- 対象：よちよち歩きから幼稚園・保育園に行くまでのお子さん。あるいは幼稚園・保育園等へ行っていないお子さん。
- 日時：6/5(火)、7/17(火) いずれも10:00～ ■定員：各回25組(先着順)
- 申込：6/5の会は5/15(火)、7/17の会は6/5(火)から電話で。

□プール開放□

- 対象：高津区・宮前区の小学生(1～3年生は保護者同伴)
- 日時：8/7(火)～8/9(木)、8/21(火)～8/23(木) いずれも13:15～15:00
- 定員：入場は100人まで ■申込：事前登録制 6月中旬配布のチラシやHP掲載の「プール利用登録票」と保険料100円(6日間分)を7/2～25に提出して下さい。



子ども夢パーク

JR南武線津田山駅下車徒歩5分 ☎044-811-2001

「川崎市子どもの権利に関する条例」の趣旨に基づいてつくられた“子ども夢パーク”は「ありのままの自分でいられる場」「多様に育ち、学ぶ子どもの居場所」「自分の責任で自由に遊ぶ場」「つくりつづけていく場」「子どもたちが動かしていける場」そんな子どもたちの居場所です。

『夢パまつり2012 祝！9周年』 —水遊びスペシャル—



7/16(月・祝)に行うオープン記念イベント—水遊びスペシャル—は、子ども夢パークの風物詩ともなっています。巨大ウォータースライダーやボールプール・散水シャワー・ドラム缶風呂・色水遊びなど、いたるところで水遊びができます。

また『レインボー商店街』では食べ物や飲み物、かき氷なども販売予定。飛び入り大歓迎の『ミニステージ登龍門』や、地域町内会婦人部のご協力をいただいて行う盆踊りなど、盛りだくさんの内容で準備を進めています。

ぜひ遊びにいらしてください！



市内施設の各種取組と財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

シリーズ 市内の短大・専門学校 “市民向け生涯学習の取組” ①

平成23年度の特集「市内・近隣大学の市民向け生涯学習の取組」に引き続き短大・専門学校の取組について取り上げます。

米山ファッションビジネス専門学校

川崎区南町15-2 (川崎駅東口徒歩8分) ☎044-233-0025

1932年、洋裁和裁塾としてスタートして以来、今年80周年を迎えました。米山服装学院、服装専門学校を経て今日に至っており、厚生労働省職業訓練、県商工労働部職業訓練、県立産業技術短大委託公共職業訓練を受託しています。専門学校としてのカリキュラムのほか、子どもからお年寄りまでを対象とした教室を開いています。



【書道教室】 毎月、手本課題のほか、個展書道、かな書道指導をしています。専門学校主催の「心雅書道展」を年数回開き、作品の発表もしています。



◇火曜日コース 16:30～18:30 } 各コースとも幼児から小・中・高校生、一般までが対象です。
 ◇水曜日コース・土曜日コース 14:30～16:00

【川崎中国語教室】 北京語・上海語・広東語から1つ選択。

1回1時間半 月4回 ネイティブによるアットホームな教室です。

※入会金・受講料等、詳細はお尋ねください。

幸市民館日吉分館

JR川崎駅から新城・蟹ヶ谷・井田営業所行きバス等。夢見ヶ崎動物公園前下車徒歩5分
 JR新川崎駅から徒歩15分 ☎044-587-1491

幸市民館日吉分館は平成10年度の基本構想づくりから市民と行政のパートナーシップにより整備が進められ、平成15年7月に開館しました。日吉地区の市民館・図書館の複合施設として、また、日吉出張所との合築の施設、地域の身近で自主的な学習・文化活動の拠点として、市民と共に歩んでいます。



日吉の花咲かシニアさん

〈これからのイベント情報〉

市民館分館では市民の自主学習・文化活動・生涯学習の場として下記のような様々な取組をしています。

「日本語サロン」「生涯学習体験教室」「日吉ぶっくぶっくクラブ」「オータムジャズナイト」「子育てフェスタ幸」「日吉の花咲かシニアさんゴーヤ編」 など

※詳細はお問い合わせください。ご参加をお待ちしています。



市民自主企画事業 “オータムジャズナイト”

麻生スポーツセンター

小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩7分 ☎044-951-1234

〈スポーツ定期教室の開催〉年間を3回に分け子どもから大人まで楽しめる教室を多数開催。現在「春の定期教室」を開催中、参加者たちの掛け声で賑わっています。

◇秋の定期教室 (H24年9月～12月) 参加者募集期間：7月中旬頃～8月中旬頃

◇冬の定期教室 (H25年1月～3月) 参加者募集期間：11月中旬頃～12月中旬頃

〈スポーツデー〉毎週さまざまな種目を開催。お子様には武道系が、女性にはエクササイズ系が大人気。たっぷり汗を流してリフレッシュしませんか。 ※事前申込みは不要です。



ママさんバレー教室

〈トレーニング室〉施設イチオシのトレーニング室には、多数のマシンを取り揃えています。マシン初心者・女性・ご高齢の方も、スタッフが常駐していますので安心してご利用ください。

初めてトレーニング室を利用される方は「初回説明会」の受講が必要です。※事前予約制 トレーニングに関してのご相談は「麻スポ カウンセリング室」へ。※事前予約制・別途料金

■利用時間：(午前)9:00～12:00 (午後)13:00～16:30 (夜間)17:30～21:30

■定休日：毎月第4月曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始、館が定めた日

あ と が き

◆4月初旬の“爆弾低気圧”には肝を冷やした。瞬間最大風速が40m/秒を超えた地域もあったという。咲き始めた桜の運命に気をもんだ人も多からう◆耳学問だが、一見可憐な桜は寿命で散りこそすれ、多少の風雨で散ることはないという。あの強風にも耐えて今年も満開の見事な景色を楽しませてくれた◆嵐はひと時を忍べば過ぎ去る。人々は戦後の荒廃からも、阪神淡路大震災からも、短期間に見事な立ち直りを見せた◆東日本大震災は、家屋の崩壊や甚大な津波被害に加えて、放射能汚染問題が絡むだけに、その再建は容易ではないだろう。英知の結集によって1日も早く復活の日が来ることを願わずにはいられない。

放送大学平成24年度10月入学生募集

(教養学部・大学院文化科学研究科修士課程)

応募期間 平成24年6月1日(金)～平成24年8月31日(金)

放送大学は、
**1科目から学べる、
通信制の大学です。**

- テレビやラジオで、マイペースに授業が受けられます。
- お近くの学習センターが学びをサポートします。
- 放送大学「エキスパート」なら、興味のあるテーマを体系的に学べます。



〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 TEL 043-276-5111(総合受付)

詳しくは、電話・FAX・HPで募集要項(無料)をご請求ください。

0120-864-600

放送大学 検索 www.u-air.ac.jp

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google等)で、「放送大学」とご入力の上、ご覧ください。



「少し勉強してみようかな。」
テキストとノート、シャープペンを揃えたら、
ちよっと前の自分とは違う自分がいる。
授業は、知らない事だらけだけど、
知らなかったことが分かる瞬間の喜び。
変わりたいと思った自分が、一歩前に進めた。
あなたと一緒に、どうですか？

オープンキャンパス・個別相談会(※)を行います!(予約制です)

神奈川学習センター(横浜市南区大岡2-31-1)

TEL 045-710-1910

最寄駅:横浜市営「弘明寺」5分、京急「弘明寺」徒歩12分

7月1日(日)、14日(土)、8月4日(土)、12日(日)、18日(土)

各14時～16時

※8月21日(火)～26日(日)、28日(火)～31日(金)

各10時～12時、14時～17時

東京渋谷学習センター(渋谷道玄坂1-10-7)

TEL 03-5428-3011

最寄駅:JR「渋谷」西口徒歩5分

※7月8日(日)、14日(土)、8月12日(日)

各13時～17時

会場:AP渋谷(東急プラザ8階)

※8月21日(火)～26日(日)、28日(火)～31日(金)

各10時～12時、13時～17時

会場:渋谷学習センター

陶芸教室

平成24年度 第Ⅱ期
生涯学習プラザ **受講生募集**

- 受講対象者は18歳以上の市内在住・在勤者。
ロクロコース希望者は手びねり経験者に限ります。
- 費用には、受講料以外に材料費(粘土・釉薬)、焼成料が含まれます。
- 詳細の案内チラシは各区区役所・市民館・図書館の情報コーナーに置いてあります。(6/21以降)
- 申し込みは6月21日(木)以降



コース	水曜手びねり	水曜ロクロ	土曜手びねり	土曜ロクロ
期 間	8月22日～11月28日	全12回	8月18日～12月1日	全12回
時 間	AM9:30～12:30	PM1:30～4:30	AM9:30～12:30	PM1:30～4:30
定 員	15名	10名	15名	10名
費 用	31,500円	37,500円	31,500円	37,500円

■問合せ:(公財)川崎市生涯学習財団事業推進室陶芸担当 044-733-5893

健康・体力づくりスポーツ教室 第2期(9/3～12/3 全10回～12回)

エアロビクス・ボディメイクエクササイズ・ヨガ・気功太極拳・はじめての太極拳
ストレッチ健康体操・たのしいフラダンス・リズム&ストレッチの8教室を開講!
申込み締切:8/6(月)必着 応募者多数の場合は抽選。
詳細は公共機関に置かれるチラシ、または、HPをご覧ください。



■問合せ:(公財)川崎市生涯学習財団事業推進室スポーツ教室担当 044-733-5894

お知らせ

川崎市ふれあいサマーキャンプ 締め切り間近!!

今年も5コース実施予定です。参加申し込み締め切りは6月8日(金)です!
お問い合わせは生涯学習財団ふれあいサマーキャンプ担当へ ☎044-733-5572

